

2. オウル市（フィンランド）

（1）どのような機関ですか？

- フィンランド北部の中核都市・オウルは、1958年に設立されたオウル大学とともに発展した、世界トップクラスのICT産業と教育における強固な地盤をもつ地域で、北欧のシリコンバレーと呼ばれています。また、スカンジナビア地域初のサイエンスパークを含む、2つのサイエンスパークを有するなど、教育・研究開発のハブとして、特にライフサイエンス分野におけるリーディングタウンになっています。
- 市傘下の産業雇用支援機関である「ビジネスオウル」が各種支援を提供しているほか、オウルにおける健康とウェルビーイングに関するエコシステムである「オウルヘルス」が、オウル市やオウル大学及び民間企業など産官学の様々なパートナーを繋ぎ合わせる役割を有しています。

ここがすごい！

- ICTインフラ/実証環境等の充実
フィンランドにおける無線通信技術の研究は、昔からオウル大学を中心に行われ、産学官連携による開発の重要拠点となっています。世界の6G研究開発の最前線であるフィンランドの国家研究プログラム「6Gフラッグシップ」もオウル大学主導で進められています。
- ヘルスケア分野では、オウル大学病院で、“Future Hospital 2030 Program”として、テストラボ “OYS TestLab”を中心に、5Gを含む先端テクノロジーを活用した様々なヘルスケアソリューションの実証がおこなわれています。「オウルヘルス」では、この“OYS TestLab”を含め、製品のあらゆる研究開発プロセスにおいて、専門家によるフィードバックも含めたユニークで総合的な実証試験の環境「オウルヘルス・ラボ」を提供しています（裏面に後述）。



（出典）OuluHealth Webサイトより

＜組織概要＞

組織名	フィンランド共和国オウル市 City of Oulu, Finland
Webサイト	https://www.ouka.fi/oulu/english/
その他	・ビジネスオウル（BusinessOulu） https://www.businessoulu.com/en/ ・オウルヘルス（OuluHealth） https://ouluhealth.fi/

（2）神奈川県との関係は？

- 神奈川県は、2014年に同市と覚書を締結後、これまでにビジネス交流会の開催や、県内企業訪問団の派遣等、ライフサイエンス分野での協力関係を築いてきました。
- 2025年に更新したMOUを活かして、神奈川県からも引き続き**ビジネス交流会の開催や企業訪問団の派遣といったサポート**が可能です。



※2019年11月
覚書再締結時の様子

＜MOU概要＞

MOU締結時期	2014年10月16日
MOUの目的・内容	◆ 目的： 両地域におけるライフサイエンス分野に関する産業振興及び連携 ◆ 合意内容： 両地域の利益という観点から、特にe-ヘルス（ITを活用した医療・健康サービス）、バイオメディカル等における、商取引や技術移転を通じた科学的・技術的な基盤強化に向けた協力関係の拡充等を図っていく。主な協力分野は以下のとおり。 －ヘルスケア製品、アプリケーション、サービス －バイオメディカルや医薬品に関わる製品、アプリケーション、サービス －“未病”と“オウルヘルス・エコシステム”のコンセプトに基づく、創造的社会システムのためのイノベーション －ヘルスケアのためのAIといったアプリケーションやテクノロジーを含むロボティクス
関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1105804.html

(3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- 主な支援主体は「ビジネスオウル」です（オウルヘルスにも連携）。主な支援対象は、オウル地域にオフィスがある企業、もしくはオウル地域の企業と協業している企業（現地協業企業を通しての支援提供）とされていますが、ビジネスマッチングに積極的であり、進出・協業検討時のご相談などが可能です。

a. ワンストップ相談窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応支援	c. 市場情報提供/市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーキング	e. 現地研究者とのマッチング（共同研究支援）	f. 施設・設備供与
○	△	△ コンサル企業紹介可能	○	△ 大学関係者紹介可能	△
g. 立地支援/税制優遇	h. 支援金/奨励金制度	i. 補助金プログラム	j. その他	実証実験環境（オウルヘルス・ラボ*）を提供	
○ ※立地支援のみ	△ 他組織の紹介は可能	○ ※現地企業向け	○	○：提供あり -：提供なし △：地域内の他団体が提供	

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

*オウルヘルス・ラボは、様々な方法で実証をサポートしています。オウルヘルス（<https://ouluhealth.fi/services/ouluhealth-labs/>）のほか、神奈川県Webサイト（https://www.pref.kanagawa.jp/documents/13104/ouluhealthlab_rev.pdf）でも、詳しい情報をお伝えしています。

 アイデア	・マッチメイキング ・ワークショップ ・概念実証 →ベストアイデアの選択	 開発	・プロトタイプ ・プロフェッショナルコンサルティング ・ラボシミュレーション/臨床研究 →早期段階の試作品	 テスト	・ユーザーテスト ・製品トレーニング ・商品化/販売 →ユーザー・リファレンス・ガイド
---	---	---	--	--	--

(4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/創薬	d. ヘルステック/AI活用	e. 低侵襲治療機器	f. 高精度診断機器	g. 計測・分析・評価技術	h. 受託研究・製造・開発	i. 希少疾患	j. がん／悪性新生物
	○	○	○	○	○	○	○		
k. 感染症	l. 生活習慣病	m. 認知症	n. 生活機能（フレイル予防等）	o. メンタルヘルス・ストレス	p. その他	○：特に重視している領域			
	○	○	○	○	○				

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

例えば…

- 欧州市場参入を見据えたオウルヘルス・ラボの活用
 ビジネスオウル及びオウルヘルスエコシステムが、日本企業6社をオウルヘルス・ラボ（市のサービス組織及びオウル大学のテストラボ）での実証実験に招待したという事例をご紹介いただきました。
 実証では、ヨーロッパ市場への製品/サービス投入にあたって必要なローカライゼーションが可能か、またそのようなニーズがあるか、といった点の検証が主な目的とされていました。
- ※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。
 MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

※ 神奈川県令和元年度「ヘルスケア・ニューフロンティア国際展開支援業務委託」事業の一環で、みずほ情報総研株式会社が作成
 令和7年度一部更新

<お問合せ先>
 神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室 国際戦略グループ
 TEL：(045) 285-0833 メール：hcnf-gs@pref.kanagawa.lg.jp